

JSP-34W 鋼製橋脚隅角部の設計

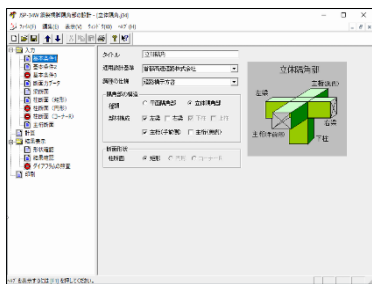
概要

JSP-34W は、道路橋示方書・同解説 I 共通編、II 鋼橋・鋼部材編（平成 29 年 11 月）および土木学会論文集第 153 号「薄板構造ラーメン隅角部の応力計算について」（奥村敏恵、石沢成夫著）に基づき、設計断面力が作用する鋼製橋脚の平面および立体隅角部の設計を行います。

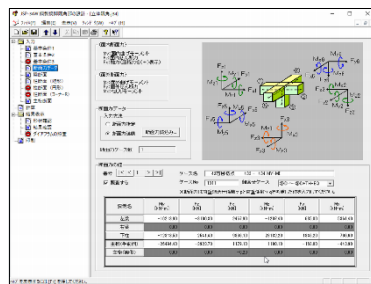
特長

- ① 構造形式は平面隅角（梁＋柱）／立体隅角（梁＋柱＋主桁）から選択できます。
- ② 断面計算は自動決定／指定計算から選択できます。
- ③ 断面形状は、梁断面 7 種類、柱断面 6 種類、主桁断面 7 種類から選択できます。
梁断面、主桁断面についてはフランジ張り出し断面が扱えます。柱断面についてはコーナー R 付き形状および円管が扱えます。
- ④ 曲面フランジについては、面内断面力に対する補正係数を指定することにより対応が可能です。
- ⑤ 断面力は、弊社の任意形立体骨組の断面力解析システム（JIP-SPACER）から連動できます。
- ⑥ 合成応力度の計算方法は、せん断応力度の取り扱いから以下より選択できます。
 - ◆ τ_e / τ_{ed} 、 τ_w / τ_{wd} のうち絶対値の大きい方を用いる
 - ◆ τ_e / τ_{ed} でのみ計算
 - ◆ フランジでは τ_e / τ_{ed} 、ウェブでは τ_w / τ_{wd} で計算
 - ◆ τ_e / τ_{ed} 、 τ_w / τ_{ed} のうち絶対値の大きい方を用いる

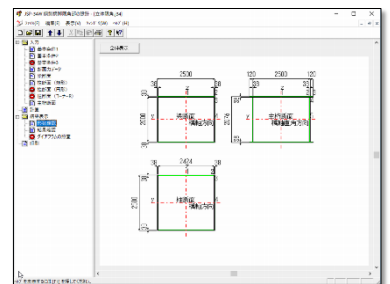
画面例



入力／基本条件 1



入力／断面力データ



結果表示／結果確認

制限

断面力ケース数 : 180 ケース

隅角部断面は全断面有効とし、フランジとウェブにはリブが付いていないものとして計算します。

自動決定の場合は板厚間の条件として、フランジ板厚 \geq ウェブ板厚で決定されます。

断面を構成する板厚は 2 軸対称とします。

動作環境

Windows 8.1/10

Microsoft[®], Windows[®]は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

販売価格

使用許諾料	600,000 円	(税込価格 : 660,000 円)
追加 1 ライセンス料	60,000 円	(税込価格 : 66,000 円)
サポートサービス料(必須) ^{*1}	10,000 円	(税込価格 : 11,000 円)/年間

^{*1} サポートサービス料には、問合せサポートおよびマイナーバージョンアップ料が含まれています。